

## 紡ぐ 4 地域産業の持続的発展支援

### 紡ぐ 4 ▶ ① 農林業の振興

#### 現況と課題

##### ① 担い手不足が進んでいます

- ・ 農業者の高齢化や農地の開発等により、担い手不足が進んでいます。
- ・ 町内の担い手が少ないことから、新規参入の促進が求められます。

##### ② 農地の確保と有効利用に取り組んでいます

- ・ 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールの実施により、無断転用や遊休農地の把握をしています。
- ・ 耕作者の高齢化や相続による土地持ち非農家の増加により、今後遊休農地化が進行していく懸念があり、対策が必要になっています。
- ・ 担い手への農地利用の集積・集約化を進めており、遊休農地の発生防止と解消に取り組んでいます。

##### ③ 儲かる農業への転換が求められます

- ・ 本町における農産物の特性を活かし、少ない耕地でも高付加価値化が図られるよう、消費者と結びつけた農産物への改良や物流コストの低減を図っていく必要があります。
- ・ 少ないコストで高品質の生産量を確保するため、関係者と協力し、スマート農業の取組などへの導入支援をしていく必要があります。

##### ④ 森林環境税及び森林環境贈与税による森林経営管理制度<sup>※32</sup>に取り組んでいます

- ・ 適正に管理や経営ができていない民有林について、町が林業事業者に林業経営を仲介しています。
- ・ 森林環境税及び森林環境贈与税を活用しています。

#### 取組

##### ① 人・農地プランの実質化

- ・ 農地の貸し手、借り手のマッチング、省力化・収益性を向上させる機械や先端技術等の導入により、農業経営の安定と農業所得の向上を図り、魅力ある農業への転換を支援します。
- ・ 新規参入者に対し情報提供等を行い、関係機関と連携しながら支援を行います。

##### ② 農地の利用状況調査と農地中間管理機構の活用

- ・ 遊休農地化した農地の所有者等に対して利用意向調査を実施し、有効利用を促進します。
- ・ 担い手へ農地利用の集積・集約化に向けて、農地中間管理事業を利用した利用権設定を促進します。

##### ③ 儲かる農業への転換を支援

- ・ スマート農業への取組など先進事例を調査、研究し、関係者との情報共有を図ることで儲かる農業への転換を支援します。

##### ④ 森林経営管理制度の運用促進

- ・ 迅速に森林経営管理制度が運用できるよう、林地台帳整備と GIS システムを導入します。



#### 関連するSDGs



#### 達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
② 担い手への農地集積率	%	14	30	集積面積 / 農地面積
② 遊休農地	%	3	3	遊休農地面積 / 農地面積

関連する 個別計画	人・農地プラン	吉岡町農業振興地域整備計画
	吉岡町特定間伐等促進計画	吉岡町森林整備計画

※ 32 適切な経営管理が行われていない森林を市町村に集約し、市町村による直接管理や意欲と能力のある林業経営者への委託等により、林業の成長産業化と森林の適正な管理の両立を図る制度のことで。

## 紡ぐ4 ▶ ②商工業の振興

### 現況と課題

#### ① 企業誘致の受け皿づくりを進めています

- ・ 企業誘致エリアの研究・情報収集を進めています。
- ・ 産業団地の計画について、関係機関と情報交換を行っています。

#### ② 地域資源を活かした店づくりを進めています

- ・ 幹線道路沿いの大型商業施設の進出により、まとまりのある商業エリアを形成しています。
- ・ 大型商業施設に影響を受ける小規模事業者への支援が求められています。
- ・ 商工会と連携し、中小企業者の経営支援を行っています。
- ・ 地区計画及び用途地域の設定を行い、商業地の計画的な誘導を図っています。

#### ③ 事業者支援を行っています

- ・ 県や商工会と連携し、起業希望者への支援を行っています。
- ・ 販路開拓を推進する補助制度を創設し、小規模事業者の経営革新を進めています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症のまん延により経営に影響を受けた事業者に対し、助成金の交付や商品券の発行等を行い支援しています。

#### ④ 雇用情報の提供や相談業務を行っています

- ・ 商工会と連携し、無料職業紹介センター事業を実施しています。
- ・ 求人案内の配布や就業に関する相談業務を行い、求人者と求職者の要望に応じたマッチングを行っています。
- ・ 県が運営する移住支援ポータルサイトを通じて、求人情報等を掲載するとともに、町の情報を発信しています。

#### ⑤ 事業支援により雇用の創出を図っています

- ・ 関係機関と連携し、企業誘致による雇用の創出について調査・研究を進めています。
- ・ 県や商工会と連携し、起業支援や経営支援を行い、事業拡大と雇用創出に努めています。



### 関連するSDGs



### 取組

#### ① 企業誘致の推進

- ・ 計画的な土地利用に基づく企業誘致エリアの受け皿づくりを進めます。
- ・ 情報収集を促進し、企業誘致を進めます。

#### ② 大規模店舗と小規模店舗との共存

- ・ 幹線道路沿いへの大型店舗の誘致を進めるとともに、商工会と連携し小規模店舗の強みを活かした事業展開を支援します。
- ・ 中小企業者の経営支援や情報発信の支援を行います。
- ・ 適宜、地区計画の見直しを図り、適切な商業地の計画的誘導を進めます。

#### ③ 経営革新・起業等の事業者支援

- ・ 県や商工会と連携し、研修会や業種間交流の場を提供することにより、不安や疑問の解消を図り、起業や経営革新の支援を行います。
- ・ 小規模事業者に対する補助制度を拡充し、経営革新を支援します。
- ・ 感染症流行下の影響により、不安を抱く起業希望者に対して、個々の事情に合った創業支援を行います。
- ・ 感染症流行下の影響により、適宜事業者支援を行います。

#### ④ 就職・再就職の支援

- ・ 商工会やハローワーク等との連携により、求職者が求める雇用情報の提供や就職相談を充実させ就職・再就職の支援を促進します。
- ・ 渋川地区広域圏職業訓練センターの活用を促進し、就職に向けた専門知識や技能習得を支援します。
- ・ 県が運営する移住支援ポータルサイトを活用し、移住支援に取り組みます。

#### ⑤ 雇用の場の創出

- ・ 関係機関と連携し、企業誘致を含め新たな雇用の場を創出します。
- ・ 起業を支援することにより、地域からの雇用を創出します。

### 達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 誘致企業数	件	0	5	5年間での誘致件数
② 小規模事業者数	件	527	527	5年間の推移
③ 創業支援件数	件	5	5	年間の支援件数
④ 無料職業紹介センターによる 就職採用率	%	88	95	年間の延べ求職者数に 対する就職者数の比率

関連する 個別計画	吉岡町都市計画マスタープラン 吉岡町創業支援事業計画	吉岡町立地適正化計画
--------------	-------------------------------	------------

## 紡ぐ4 ▶ ③観光の振興

### 現況と課題

#### ① 観光資源の情報発信をしています

- ・新型コロナウイルス感染症に対応した新たなニーズとして、地元や近隣、小規模なエリアを楽しむマイクロツーリズムが注目されています。
- ・新型コロナウイルス感染症のまん延により、町内主要観光施設は大きな影響を受けています。
- ・駒寄スマートICの大型車対応化により大型バスのアクセスが向上し、観光面への波及効果が期待されます。
- ・町内飲食事業者を観光資源の一部として町観光ホームページに掲載、発信することにより、産業振興に寄与しています。

#### ② 道の駅よしおか温泉のサービス向上に努めています

- ・老朽化による施設や設備の修繕を行うとともに、道の駅に関わる各団体と意見交換を実施することでサービスの向上に努めています。
- ・東の玄関口として交流人口の多い道の駅でのイベント招致を実施しています。

#### ③ 広域観光エリアで連携しています

- ・渋川北群馬地域の各団体や協議会等との連携により、広域観光エリアで足並みをそろえた活動を行っています。
- ・町内に、長時間滞在できる観光資源が少ないことが課題です。

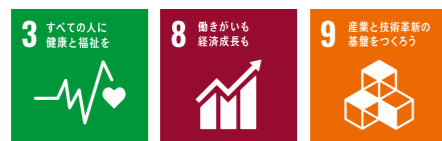
#### ④ 道の駅を中心とした情報発信を行っています

- ・道の駅よしおか温泉を扱ったモデルコースを策定し、魅力を発信しています。
- ・町内情報を閲覧できるデジタルサイネージ※<sup>33</sup>の利用から、来訪者が散策の旅程を立てられる取組を行っています。
- ・町中散策イベントを実施することにより、参加者による町の魅力発信を創出しています。

#### ⑤ 観光・名産品のPRをしています

- ・小倉のぶどうや乾燥芋、おっきりこみ等の特産品に関して様々な情報発信を行っています。
- ・事業者の高齢化が進展しており、将来的には規模縮小も懸念されます。
- ・町観光ホームページへ掲載する情報量を増やし内容の充実を図るとともに、最新情報への更新を随時実施しています。
- ・観光スポットでは、新型コロナウイルス感染症のまん延から、基本情報のほか、感染症対策についての情報が求められています。

### 関連するSDGs



### 取組

#### ① 情報発信の拡充

- ・新しい生活様式に適した情報発信やPRを積極的に行うとともに、変化していく消費者や観光客の求めるニーズを的確に捉え、効果的な情報提供に努めます。
- ・マイクロツーリズムなど、新たなニーズに対応するため、県内、県近郊地に目を向けた情報発信を強化します。
- ・町内の観光資源を効果的に結びつけ、アクセスがしやすい手法等の情報発信に取り組みます。
- ・駒寄スマートICの大型車対応化による大型バスのアクセス向上を、新たな観光需要の創出につなげます。

#### ② 道の駅よしおか温泉の魅力向上の促進

- ・施設設備の更新と人的サービスの向上を図るほか、魅力ある道の駅となるよう、関係団体とともに取組を進めます。
- ・道の駅のイベント招致の強化とICT技術による参画等、新しい交流の場の形成に取り組みます。
- ・サービス、立地及び周辺エリアを活かした道の駅よしおか温泉ならではのブランド力向上を目指し、来場者の満足度を高めます。

#### ③ 広域観光エリアでの誘客の促進

- ・渋川北群馬地域の各団体や協議会等と連携を深め、広域観光エリアでの地域資源を有効に活用したイベントを企画、実施し、さらなる誘客促進を図ります。
- ・観光イベントでは、季節や時期等に即したパンフレットやノベルティを来場者に配布することから、PRのさらなる拡大を図ります。

#### ④ 来訪者ニーズへの対応強化

- ・モデルコースの企画による魅力発信を強化、継続するとともに、道の駅よしおか温泉のデジタルサイネージを活用し、情報発信の強化につなげます。
- ・イベントの企画とともに、キャンピングカー需要やペット需要の増加といったトレンドを押さえた事業展開に取り組みます。

#### ⑤ 名産品のさらなる磨き上げと発掘

- ・様々な情報発信を拡充し、名産品のさらなる磨き上げと新たな名産品の発掘を積極的に行います。

### 達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 町ホームページの「観光」ページ閲覧数	延件	未実施	3,150	「観光」ページの年間閲覧数
② 道の駅来場者数	人	268,000	420,000	各施設の延べ来館者数
③ 広域でのイベント出展回数	回	2	3	イベントへの出展回数
⑤ 群馬県優良県産品制度への出展品数	品	4	7	県観光魅力創出課主催の優良県産品制度への出展品数

※ 33 ディスプレイなど映像表示機器を使用して情報を発信するシステムです。